

■名水百選選定自治体による「名水サミット in はだの」が開催されました！

環境省から名水百選に選定された自治体が加盟する「全国水環境保全市町村連絡協議会」では、毎年、地域づくりの推進や水の重要性の周知を目的に全国大会及びシンポジウム(名水サミット)を開催しています。

令和7年の名水サミットは、市制施行 70 周年を迎える神奈川県秦野市が開催地となり、11月8日(土)に、「名水というのには訳がある」をテーマに、名水シンポジウムが開催されました。

名水シンポジウムの前半では、丹沢が育む「名水の里 秦野」のその『訳』について、名水を育む地形や自然環境のほか、秦野市が経験してきた地下水位の低下、地下水汚染などの課題への対策など、それぞれの分野の専門家による基調講演が行われました。後半のパネルディスカッションでは、秦野市に、神奈川県内の名水百選選定自治体である南足柄市、山北町を交えて、多くの人々の生活を支える「名水」を将来へ引き継ぐため、何ができるのかについて意見が交わされました。

2025 年は、環境省が 1985 年(昭和 60 年)に、「秦野盆地湧水群」を始めとする、日本各地 100 か所の湧水や河川を、昭和の「名水百選」として選定して 40 周年となります。環境省では、引き続き、豊かな水辺の保全やその活用による地域の魅力向上を目指して、取組を推進してまいります。

○第 39 回全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会『名水サミット in はだの』

<https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1731665738491/index.html>

○『名水サミット in はだの』PR 動画

<https://www.youtube.com/watch?v=zomKZ1aoHo8>



シンポジウムで祝辞を述べる大森水・大気環境局長



秦野名水名人らによる名水紹介



パネルディスカッション



展示ブース